

Japanese Red Cross Takayama Hospital

# 高山赤十字病院紀要

(第40号) 2016年

高山赤十字病院紀要

第40号



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

高山赤十字病院紀要 第40号

平成29年3月1日発行

発行 高山赤十字病院  
〒506-8550 岐阜県高山市天満町3-11  
電話 (0577) 32-1111 (代)

印刷 中京コピー株式会社  
〒461-0001  
愛知県名古屋市東区泉三丁目30番3号  
電話 (052) 931-2611

二〇一七年三月

<b>巻頭言</b>	病院機能評価認定！	棚橋 忍	… 1
<b>臨床・症例検討</b>			
	胃体上部後壁のGISTに対して腹腔鏡・内視鏡合同胃局所切除 (Laparoscopy endoscopy cooperative surgery: LECS)を施行した経験	沖 一匡・他	… 3
	当院における乳がん検診の現状	川邊 美穂・他	… 9
	平坦度半導体検出器を用いたQAQCプログラム	中岡 靖博・他	… 14
	当院で初めて経験した熱帯熱マラリアの1症例	河上 菜美・他	… 18
	メタルアーチファクト低減ソフト (WARP)を用いた生体内金属に対する 効果の検討	橋本 翔太・他	… 23
	病院薬剤師と薬局薬剤師の意識相違	嶋 俊弥・他	… 27
	SSRIによるドパミンへの影響	大久保恒正・他	… 33
	負荷を加えた頭部挙上訓練の検討	岩腰 紀子・他	… 38
	悪性神経膠芽腫 (グリオーマ) 以外の脳腫瘍における O6-methylguanine-DNA methyltransferase (MGMT) 抗体の染色性の検討	西脇崇裕貴・他	… 43
<b>剖検検討会報告 (CPC)</b>			
	平成27年度 第1回 ステロイド治療開始後3週間でニューモシスチス肺炎、 サイトメガロ肺炎を発症した1例	高原万友香・他	… 46
	第2回 大量吐血により死亡した食道癌の1例	草場 勇作・他	… 51
	第3回 直腸癌術後化学療法施行し、間質性肺炎の増悪を認めた1例	押田 一真・他	… 54
	第4回 劇症型抗リン脂質抗体症候群が疑われた1例	川尻 真菜・他	… 59
	第5回 強皮症の経過観察中にびまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (DLBCL)を発症した1例	前沢 琢磨・他	… 65
<b>剖検検討会報告 (miniCPC)</b>			
	平成27年度 第1回 急性肺炎に心不全を合併した1例	田口 大輔・他	… 69
	第2回 ネフローゼ症候群により慢性心不全の急性増悪をきたし、 治療に難渋した1例	岩田 純里・他	… 73
<b>剖検記録</b>	平成26年 (2014年) 当院における病理解剖の現状	岡本 清尚・他	… 77
<b>抄録</b>	院内合同発表会抄録		… 80
<b>業績・他</b>	各科業績記録 (2015年度)		… 87

高山赤十字紀要  
JRC Takayama Hosp

高山赤十字病院

## CONTENTS

-A CASE REPORT - .....	K.OKI et al. ....	3
Differences in awareness of medicine handbook between community pharmacist and hospital pharmacist; a questionnaire-based survey on Hida area in Gifu. ....	T.SHIMA et al. ....	27
The influence over the dopamine by SSRI .....	T.OHKUBO et al. ....	33
Study on dysphagia rehabilitation with loaded head elevation training ...	N.IWAKOSHI et al. ....	38
Immunohistochemical study of O6-methylguanine DNA methyltransferase in brain tumors except glioma .....	N.TAKAYUKI et al. ....	43

- I. 本誌は年1回発行し、高山赤十字病院職員および関係者の論文等を掲載する。
- II. 投稿論文は未発表のものとする。原稿の採否は編集委員会が決定する。
- III. 原稿
  1. word形式で、A4版用紙1枚に40字x40行の横書きで作成する。
  2. 原稿の第1枚目に、論文題名、著者名、所属、和文抄録(400字以内)、索引用語(5個以内)を記載し、本文は2枚目から始める。
  3. 英文タイトル、著者名、所属、英文抄録(200語以内)の用紙を添付することにはこだわらない。
  4. 各章の標題は、大項目をI、II、III・・・、中項目を1. 2. 3・・・、小項目を1)、2)、3)のように記載する。
  5. 論文の長さ、図・表・写真の枚数は、制限することがある。
  6. 提出にあたっては、印刷版と電子メディアの両方を提出する。
  7. 共同著者に名前を挙げる人には、必ず事前に承諾を得る。
- IV. 図・表
  1. 各々の図(写真)・表は番号・見出しを付けて、本文にも挿入箇所を指定する。
  2. 図(写真)は鮮明なものを使用する。
  3. カラー印刷は、実費を徴収する。
- V. 文献
  1. 主要文献のみ、原則として20個以内とする。
  2. 本文の引用箇所<sup>1) 2) 3)</sup>のように肩番号をつけ、文末に一括して掲載順に記載する。
  3. 著者は2名までは併記し、それ以外は「他」「et. al.」と省略する。
  4. 雑誌は、著者名：論文題名、雑誌名 巻数：始頁—終頁、年号(西暦)の順に記載する。  
 欧文雑誌名の省略はPub Medに従う。和文雑誌名は原則として省略しない。  
 例：2) 橋本健一、柴田敏朗、他：低血糖脳症後に食行動異常が自制困難となった1型糖尿病の1例  
 糖尿病 52：291—294、2009  
 4) Yokoyama Y., Asano Y. et. al. :Familial Occurrence of Arteriovenous Malformation of the Brain J Neurosurg  
 74：585—589, 1991
  5. 単行本は、著者：章の見出し、編者名、書名、版次、発行者、発行地(都市名)、発行年(西暦)、始頁—終頁の順に記載する。  
 例：5) 塩屋正道、安田一郎、他：膵癌に対するEUS-FNIによる腹腔神経叢ブロック、安田健治朗編、胆膵内視鏡診療の実際、日本メディカルセンター、東京、2009、227—232
  6. Webページは、サイト名、タイトル、URL、[アクセスした年月日]を記載する。  
 例：7) 日本小児科学会、インフルエンザ脳症ガイドライン <http://www.jpeds.or.jp/influenza/influenza090928.pdf>、  
 [accessed 2011年5月10日]
- VI. 短報
 

仕上り1—2頁の短報、photo reportも受け付ける。
- VII. 学術業績の記録
 

雑誌発行時の前年度に発表された学会演題、投稿論文の記録(以下の書誌事項)を掲載する。提出の際は、電子メディアを提出する。

  1. 投稿論文：論文題名、所属、著者名、雑誌名、巻数：始頁—終頁 発行年(西暦)
  2. 学会発表：演題名、所属、発表者名、学会名、発表年月日(西暦)、発表地(都市名)
- VIII. 著作権
  1. 本雑誌に掲載された論文の著作権は、高山赤十字病院に帰属する。
  2. 本誌に掲載された著作物の全文又は一部を電子化し、赤十字リポジトリサーバ或いは、その他のコンピュータネットワーク上で公開することがあります
  3. 本雑誌に投稿する際には「投稿および著作財産権譲渡承諾書」を提出する

### 附則

この規程は 平成28年10月1日から施行する